公益社団法人
シャンティ国際ボランティア会
Shanti
2018. 4. 春
Vol. 294
シャンティ

特集
ムスリムの人々の生活

『シャンティ』通巻294号　2018年4月1日発行（1・4・7・10月の1日発行）　1985年6月28日　第三種郵便物承認

巻末言
道

恐れるのは知らないから

シャンティ国際ボランティア会
副会長　三部 義道（山形県松林寺住職）

2002年9月撮影

21世紀を迎えたその年、アメリカで同時多発テロが起こり、その報復としてアフガニスタンへの空爆が実施されました。その時になって世界の耳目がアフガニスタンに注がれ、その厳しい現実が白日の下にさらされました。

シャンティでは緊急食糧支援が急務だとの判断から人員を派遣し、支援の届きにくい奥地までロバを使っての支援を実施しました。
緊急救援から復興支援へとつながっていくのはある意味、必然的な流れであり、アフガニスタンでの教育支援の必要性が高いという状況が見えてきました。しかし、これまで関わったことがないイスラム社会での活動にためらう声も多く、理事会では賛否両論が交わされました。

結果として、理事会から視察団を出して判断することになり、視察団の一人として現地に行くこととなりました。

パキスタンのペシャワールで民族衣装サルワール・カミーズに着替え、帽子をかぶり、外国人であることを隠すようにカイバル峠を越えました。日本製の中古のバンには自動小銃を持ったボディガードが乗り込み、緊張感はいや応なく高まっていました。

そんな車中でアフガニスタンのスタッフが、遠くの岩山を指さして「あそこに見える洞窟は昔仏教の寺院があった跡だ。我々の祖先は仏教徒なので仏教に違和感はない」と話してくれました。ひげもじゃのムスリムの男たちに囲まれて頭を丸めている居心地の悪さを感じていましたが、一瞬にして力が抜けました。

その後も、男たちの親切と優しさとユーモアのある人間性に触れ「人間はどこの国でも同じ」と身をもって実感しました。

宗教や民族が違うと、相手を怖いと思ったり、あるいは劣っていると勝手に思い込んだりしてしまいますが、実際に顔を合わせ、手を握り、抱き合ったりして、言葉を交わせば、人間として何の変わりもないと分かります。

戦おうとするのは相手を知らないからだと言えます。友だちを傷つけることはできないでしょう。“シャンティ（平和）”な社会の実現は相手を知るところから始めなければなりません。

いま、世界でもっとも信者が増えている宗教をご存じですか？　最も信者が多い宗教はキリスト教ですが、２０７０年にはイスラム教徒（ムスリム）がキリスト教徒とほぼ同数になり、２１００年にはムスリムが上回ると予測されています。日本でも、ムスリムの人々を見かける機会が増えてきました。シャンティが活動してきたアジア各国にもさまざまな文化や価値観を持った人々がいます。私たちは、互いを理解し、共に協力すれば、困難を乗り越えられることを知っています。違いを乗り越え、互いを理解するため、まずは知ることからはじめてみませんか。

Shanti vol.294 CONTENTS

4 特集
ムスリムの人々の生活

16 世界の絵本を読んでみよう
「知ったことではない」（BRC 2012年出版絵本）

18 世界のおやつ旅
タイのおやつ／カノムクロック

19 世界の現場からAIRMAIL
From 活動の現場
▶アフガニスタン
▶BRC ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

28 シャンティな人たち
バスィール・アハマド・ハムダルト

30 これがわたしの宝もの
アフガニスタン　シャジア
「図書館と本」

31 お知らせ／編集後記

32 道「恐れるのは知らないから」
副会長　三部 義道（山形県松林寺住職）

今号の表紙
アフガニスタン
ジャララバードにて。
2017年撮影
©安井浩美

アフガニスタン・ジャララバードの子ども図書館でビーズ刺繍をする子どもたち
2017年撮影
©安井浩美

ムスリムの人々の生活

いま、全世界に約16億人のイスラム教徒（ムスリム）がいると言われています。日本には留学生や企業の研修生として、10～20万人が暮らしています。近年、訪日ムスリム旅行者の数は増加の一途をたどっており、２０１６年には70万人、２０１８年には１００万人を超えると予測されています。また、２０２０年の東京オリンピック開催の年には１４０万人に達するとも言われています。今回の特集では、知っているようで、実は知らない「ムスリム」についてご紹介します。

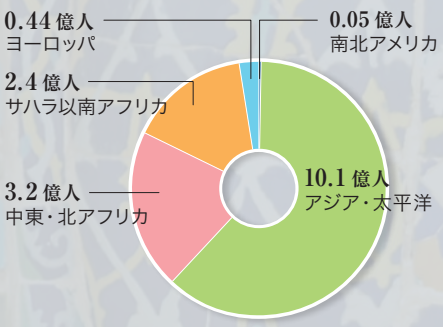
引用元：ジャパンムスリムトラベルインデックス２０１７

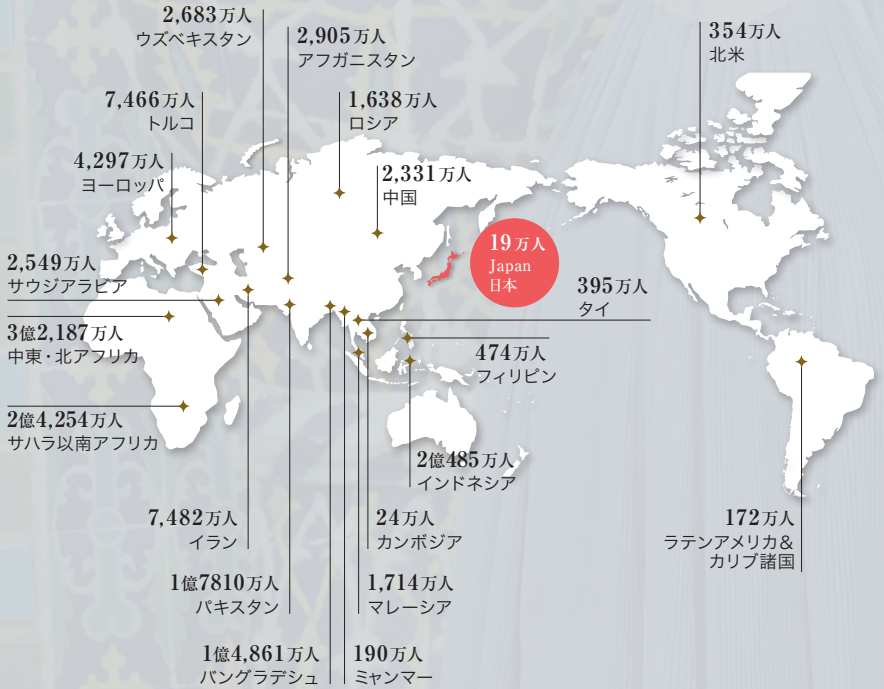
「ムスリム」って？

ムスリムとは、「（神に）帰依する者」を意味するアラビア語で、イスラム教徒のことを指します。イスラム教は１４００年前にアラビア半島で始まり、この世に唯一の神（アッラー）を信じ、神の教えを日々実践しています。

ムスリムは、五行と呼ばれる５つの行為、信仰告白、礼拝、喜捨、断食、巡礼を行い、神の教えで定められた行動規範を守っています。

世界のイスラム人口（2010年推計）　16.2億人





引用元：Pew Rerearch Center's Forum on Religion & Public Life.

シャンティ活動地
いろいろな国のイスラム文化

世界人口の約4分の1を占めるムスリムのうち、約10億人がアジアに住んでいます。ムスリムと言っても、国や地域によって服装や食べ物もまちまちです。シャンティの活動国、活動地域にもムスリムは多く、国や地域によって、さまざまな特徴があります。

アフガニスタン

代表的なモスク ハズラト・アリー廟

首都のカブールでもっと大きなモスクは、市の中心に位置するアブドゥルラフマーン・ハーンモスクです。北部の都市マザリシャリフには、ブルーモスクと呼ばれる壁一面に美しいコバルトブルーのタイルがほどこされたハズラト・アリー廟があります。

ミャンマー

代表的なモスク イドゥガモスク

ミャンマーのムスリムは、1988年のミャンマー民主化運動時に軍事政権を先導していた仏教徒から迫害された歴史があります。ミャンマー政府の統計調査によると、シャンティの事務所があるピーの人口は年々増加していますが、ムスリムは減っていると発表されています。

日本

代表的なモスク 東京ジャーミイ

日本には11万人以上(うち1万人は日本人)のムスリムが暮らし、モスクは全国に80以上あります。労働や留学、観光のために来日するムスリムの増加とともに、ハラール認証などのイスラム文化に対する日本の関心も高まっています。

タイ国境ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

代表的なモスク
マズワル・ヘルル・イスラム・モスク

９カ所の難民キャンプで暮らす10万人のうち、ムスリムは8%を占めます。最も多いのが、人口の20%を占めるウンピアム難民キャンプで、次いで12%のメラ難民キャンプです。

タイ・メーソット

仏教徒が90%以上を占めるタイのムスリム人口は約400万人。1909年にマレー半島を植民地支配していたイギリスとの交渉によってタイの統治下になった、マレーシア国境付近の深南部では60～80%がマレー系ムスリムです。深南部では反政府運動による紛争やテロが現在も続いています。

代表的なモスク
マスジッド・ダルル・イスラム・モスク

カンボジア

カンボジアのムスリムは「チャム」や「クメールイスラム」と呼ばれ、18世紀にチャム帝国が崩壊した後カンボジアに移住してきました。クメールイスラムは、他宗教と争うことなく平和に共存し、わずかですが人口は増加傾向にあります。

代表的なモスク
モスク・アル・ジャミール・イスラミ

1 礼拝

ムスリムは、1日5回、決められた時間に礼拝を行います。礼拝には規則と制約があり、男性と女性で異なります。

礼拝で大切なこと

礼拝はイスラム教の5つの行の中で最も重要なものです。国や地域によって礼拝する時間や場所は異なりますが、左記の5つが守られていないと礼拝は無効になります。

1. メッカのカアバ神殿の方角「キブラ」に向かう。
2. 身心を清める。
3. 定められた時間帯内に、定められた礼拝をする。
4. 必ずニーヤ（意志表明）を行うこと。
5. 男性は最低限、へそからひざまでの部分は衣服を身につけること。女性は、手と顔以外はすべて衣服で覆う。

※キブラの方角は昔、キブラコンパスという方位磁針で確認していましたが、最近はスマートフォンのアプリでも確認できるようになりました。

礼拝の基本動作

1 カヤーム

キブラに向かって立ち、胸の前で手を組み、アッラーをたてまつり、クルアーン（コーラン）の一部を唱える。

2 ルクー

両手をひざにあて、おじぎをする。

3 サジダ

頭を地につけて2回おじぎをする。

4 カーダ

正座のように座る。

※一連の動作を「ラカート」と呼び、礼拝の時間帯や宗派によって一度の礼拝での回数が異なります。

イラスト　きよはらえみこ

わたしたちの礼拝方法

必須アイテムはコレ！

帽子

ムスリム女性のヒジャブと同様に、男性も「ペチ」と呼ばれるフチなしの帽子で頭を覆います。

礼拝マット

モスクで礼拝できないこともあるため、一人でも礼拝ができるサイズのマットは必需品です。

アフガニスタン

モスクで礼拝が基本ですが、女性は家で礼拝することが多いです。

カンボジア

金曜日の正午、男性はモスクで礼拝をします。ムスリム歴の9カ月目のラマダン（断食月）には、女性もモスクで礼拝をします。モスクへ行くことができない場合は、家や事務所などふさわしい場所で礼拝をします。

ミャンマー

イスラム教では礼拝の前に手や口を清めることを「ウドゥー」と言い、モスクにはウドゥー用の洗い場があります。

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

基本、男性はモスクへ礼拝に行きます。帽子をかぶり、長ズボンをはいてお祈りします。女性はモスクに入ることができず、家などで礼拝をします。

ムスリムの暮らし

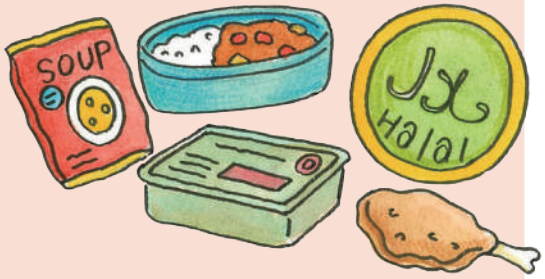
2 食事

イスラム教では、食べ物に関する決まりがあります。イスラムの所定の方法で加工、処理されていれば食べることができる「許されているもの（ハラール）」と、「禁じられているもの（ハラム）」があります。国によって禁止されている食べ物もありますが、シャンティが活動している国では、ハラム以外の制約は多くありません。

禁止されているもの ハラム

豚や犬、死んだ動物の肉、イスラムの方式にしたがって“と畜”されなかった動物の食肉、酒など

許されているもの ハラール



野菜、果物、魚、卵、牛乳、イスラムの方式にしたがって“と畜”された動物の食肉など。食材や製品がハラールであるか、ムスリムが抵抗なく食事をとれる飲食店かが分かるようハラール認証が作られています。

※ハラールの解釈は宗派、国および地域、個人によって詳細は異なります。

イラスト　きよはらえみこ

わたしたちの おいしい料理

カンボジア

魚や魚介類はすべて食べることができます。モスクなど、人が集まったときはよくおかゆが振る舞われます。

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

ヤギ肉や鶏肉、牛肉、野菜などを食べています。タイ風クレープのロティや揚げ物のサモサも食べています。戒律で禁止されている食べ物以外は、他の民族と同じものを食べています。

タイ・メーソット

朝食はロティやチャイを、昼食や夜はロティとカレーのようなものを食べています。メーソットのロティ屋は朝早くからにぎわっています。

ミャンマー

ピー県に住むムスリムは、小麦粉を練った皮でタマネギ、ジャガイモ、香辛料を包んだ揚げ物「サモサ」を好んで食べています。一個10円という値段も人気の理由かもしれません。

アフガニスタン

禁止されている豚肉とアルコール以外は、何でも調理して、食べています。

ムスリムの暮らし

3 教育

男女が別々に授業を受けることもありますが、子どもたちはみな教育を受ける権利を持っています。

わたしたちの 学校生活

カンボジア

ムスリムの子どもたちもみな平等に学校へ通うことが認められています。カンボジア政府は、2015年に1,500人のムスリムの生徒に奨学金を支給しています。

タイ・メーソット

ムスリムの学校以外にも公立学校へ行く子もいます。ムスリムの学校は高校からは男女別に分かれますが、メーソットの学校では、高校まで男女が一緒に勉強しています。

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

ムスリムの学校の授業はビルマ語が基本ですが、アラビア語で書かれたクルアーン（コーラン）も授業で使っています。

アフガニスタン

基本的に男の子と女の子が一緒に授業を受けていますが、地方や治安が不安定な地域では学校に通えない女の子もいます。

ムスリムの暮らし

4 服装

過度に肌を露出する服装は禁じられていますが、その中でも女性たちはオシャレを楽しんでいます。

わたしたちの 着まわし術

アフガニスタン

メスガンさん

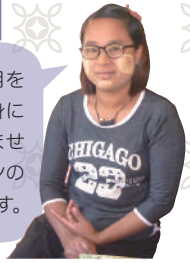
お化粧が好きです。お化粧をするとより魅力的な人になれたように感じるからです。私はもちろん、他の女の子たちもムスリムだからといって縛られるようなことはありません。

セタ・カシミさん

私が着ているドレスはアフガニスタンの文化を象徴する伝統的なものです。私はこの服が大好きで、特別な日には必ず着ていますし、他の女性や女の子たちも着ています。

ミャンマー

ウェイウェイさん



過度に肌を露出するミニスカートや人目を引く派手なロンジー（巻きスカート）を身につけたり、爪を塗ったりすることはできません。制約はありますが、かわいいデザインのロングスカートを履くのがお気に入りです。

タイ・メーソット

普段の服装は自由です。女性は頭を覆うためヒジャブを身につけています。ヒジャブはさまざまな色やデザインのものが販売されており、毎日色を変えている人もいます。

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

同じムスリムでも、戒律に準じて生活する人もいれば、他の人々と変わらない服装の人もいます。難民キャンプ内では、服装に関しては比較的自由なようです。

多様性にあふれる宗教と民族

©安井浩美

日本でも増えているムスリム

近年、日本でもムスリムが増えています。2010年から2014年にかけて訪日外国人が56％増加している中、ムスリムは78％増加しています。ムスリムの増加を受け、ムスリムのための礼拝室が作られ、ホテルや飲食店もムスリムの観光客向けにハラール認証の取得など、対策に動き始めています。観光客だけでなく、留学生や企業の研修生など、長期滞在者も増えています。地域や日々の生活でムスリムの人と接する機会がまったくないとは言えません。

多民族・多宗教について

日本は同一民族の割合が全人口の大多数を占め、単一民族国家と呼ばれることもありますが、世界的に見るときわめて稀です。多くの国は、複数の民族、多様な宗教を信仰する人々が住んでいます。

シャンティが活動しているカンボジアやミャンマーでは、ムスリムは少数派です。他宗教の信者が多数を占める社会で生きていくことは、決して容易ではありません。心ない人たちから家を壊されたりしないか、ムスリムだからという理由で差別的な言動をされないかと心配する人も少なくありません。

さまざまな文化や信仰を超えて

アフガニスタンは、シャンティが初めてイスラム圏で長期的な活動を開始し、イスラムの文化を肌で感じることになった国です。長いひげを生やし、南アジアの民族衣装サルワール・カミーズを身にまとった大男たちに囲まれた当初は「この人たちと共通の話題があるのか」と不安になったものです。しかし、すぐにユーモアあふれる彼らに引き込まれました。180度異なる世界を想像していましたが、生活の中で彼らが大事にしている価値観は欧米諸国よりむしろ日本に近いのではないかと感じたほどです。

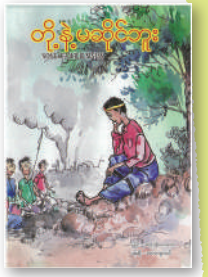
最初の壁は、「絵本がイスラムに反する」と意見が上がったときでした。さまざまな絵本を前に、子どもたちのために何をすべきか、議論は数時間にわたるときもありました。最終的には、子どもが文字を覚えるには絵があった方が覚えやすいし、何より子どもは喜ぶだろうと、イスラムの習慣や文化に合わない絵は

修正することで、ようやく図書活動を進めることができました。

テロや事件の報道が続くと、負のイメージが先行してしまいますが、現地で経験したイスラム教が身近にある生活は穏やかで、厳しい環境の中で信仰が心の拠り所となり、お祈りを済ませた人々の顔はすがすがしく、困難な状況も乗り越える力となっていました。たとえ宗教は異なっても、生活を共にすると、美しい景色やおいしい食事、笑いなど、宗教や文化、習慣を超えた共通点をたくさん見いだす中で、お互いの信仰や文化を尊重しあう心が生まれ、信頼関係が構築できます。

事務局次長 兼
事業サポート課課長 兼
アフガニスタン事務所長
山本 英里

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ
2012年
シャンティ出版絵本（ビルマ族の民話）



知ったことではない

1

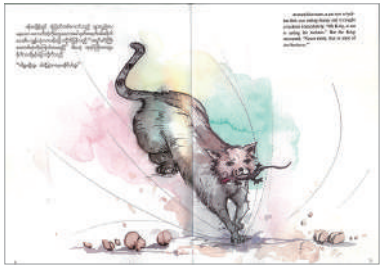
昔むかしあるところに王様がいました。王様はパンを手に取り、ハチミツをぬって食べ始めました。召使いが言いました。「あぁ王様、ハチミツが窓から外へ垂れています」。すると王様は「気にするな、知ったことではない」と言いました。

2

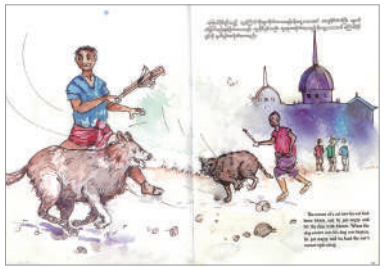
下へ垂れたハチミツは宮殿の床に落ちました。それを見つけたヤモリはハチミツをなめました。召使いは言いました。「王様、ヤモリが落ちたハチミツをなめています」「気にするな、知ったことではない」と王様は言いました。

3

すると今度はハチミツをなめているヤモリをネコが見つけて捕まえました。「あぁ、王様、今度はネコがヤモリを食べています」と召使いは言いました。「気にするな、知ったことではない」と王様はまた言いました。



4



ヤモリを食べているネコにイヌがかみつきました。ネコの飼い主は、自分のネコがイヌにかまれたのを見て、ほうきでイヌをたたきました。イヌの飼い主は怒り、すぐさまネコの飼い主とけんかを始めました。

5

しばらくすると、ネコの飼い主を助けるため仲間がやってきました。そしてイヌの飼い主の仲間もやってきて、けんかはどんどん大きくなりました。

6

宮殿の外で始まったけんかは、宮殿の中まで広がり、もはやけんかと呼べるものではなくなってしまいました。宮殿は燃え、跡形もなくなるまで続いたのです。王様と召使いたちは、命からがら燃え盛る宮殿を後にしました。

7

「一滴のハチミツが元で、こんなことになるとは。『知ったことではない』などと言っている場合ではなかったのだ」。王様はようやく気づいたのです。小さな問題がどんどん大きくなっていくことに。王様と召使いは木の下に住むことになってしまいました。

みんなの笑顔をつくる
世界のおやつ旅

タイのおやつ カノムクロック

ขนมครก

ミャンマー（ビルマ）
難民事業事務所の会計担当
ティックさんの
おすすめおやつ

屋台で人気のおやつ

今回紹介するのはタイで人気の定番おやつ「カノムクロック」です。見た目はたこ焼きのようですが、ココナッツミルクと米粉でできたほんのり甘いお菓子です。外側が少しカリッとしていて、中はとろけるようにもちもちで、まろやかな食感がおいしく人気です。最近は、コーンやタロイモが入っているものもあります。

カノムクロックは、半球型に焼いたふたつの生地を重ね合わせて球状にされて売られています。実は「愛し合うふたりが末永く続きますように」という願いが込められているのだとか。メーソットでは屋台やナイトマーケットで見つけることができます。

主に予算の管理や事務所で必要な物品の購入を担当しています。

カノムクロックの作り方

世界の現場から

AIRMAIL

To 日本の皆さん　From 活動の現場

このページでは、アジアの各国で活動するシャンティの様子やスタッフを紹介します。

From Afghanistan

アフガニスタン

紛争などにより、パキスタンへ逃れた難民の多くが帰還している一方、帰還したアフガニスタン国内では、戦闘が頻発し、滞在先を追われ、避難せざるを得ない状況に陥っています。

From BRC

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

キャンプが設置されてから33年が経ちました。祖国への帰還の動きや国際支援の削減など、難民キャンプを取り巻く状況は刻々と変わっています。

From Afghanistan

アフガニスタン

ここ数年で、治安の悪化が顕著になっているアフガニスタン。安全対策に留意しながら、必要としている人々に支援を届けています。

©安井浩美

深刻化する課題と子どもたちを取り巻く環境

2017年、戦闘などに巻き込まれた民間人の死傷者数が1万453人に上ると報告されました。過去4年間に渡り、民間人の犠牲者が1万人を超えています。

民間人や国際協力従事者を狙った大規模な攻撃は増加傾向にあり、国民の80%が何らかの心理的ストレスを抱えていると言われています。

2016年夏から本格化した隣国パキスタンからの難民帰還も収束しておらず、国内情勢や隣国との関係も複雑化しています。国内でも多くの子どもたちが教育を受けられない現状にあり、特に帰還民の子どもたちは、居場所がなく、攻撃に巻き込まれたり、人身売買、子ども兵へ徴用されたり、さまざまなリスクにさらされています。

Hot Topics

❶「子どもに優しい空間」の運営

ナンガハル県の帰還民の多い地域で帰還民の子どもたちの保護施設を運営しています。毎日150人以上が来館し、読書やお絵かき、パシュトゥー語教室などに参加しています。

❷仮設教室を建設中

難民の帰還に伴い、児童数が急増したため、学校の教室は飽和状態です。帰還民を受け入れている学校４校に仮設教室の設置を行っています。なかでも、ハスカミナ郡は、2016年に武装勢力から奪還した地域で、シャンティの教育支援が奪還後はじめての国際支援となっています。

❸子ども図書館の利用者が急増

ジャララバード市内の子ども図書館は、誰にでも分け隔てなく開いています。2017年の利用者は、例年より約8,000人多い38,086人でした。学校に行けず働く子どもや帰還民や国内避難民の子どもなど、さまざまな背景の子どもが利用しています。

❹インドで調整会議を行いました

日本人のアフガニスタン渡航制限のため、インドで現地職員との会議を行いました。進捗状況の確認や今後の課題や事業実施にあたり遵守すべきことなどを共有しました。人道支援に関する研修会も実施し、スタッフの能力強化も図りました。

支援を必要としている人に届けるために

治安が悪い中でも約1万6500校が開校しています。これまで39の学校を建設してきましたが、学校のある村では住民が子どもの安全をサポートしています。治安の悪化から閉鎖を余儀なくされる学校もありますが、教育の機会が失われないよう寄り添っていきます。

事務局次長 兼
事業サポート課課長 兼
アフガニスタン事務所長
山本 英里　やまもとえり

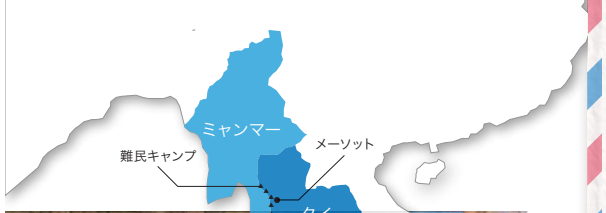
PROFILE

静岡県浜松市出身。2001年にインターンとしてタイ事務所に参加。2002年、ユニセフに出向しアフガニスタンで教育復興事業に従事。以来、各国で教育支援や緊急救援に携わる。

From BRC

ミャンマー（ビルマ）難民キャンプ

この数年、難民帰還に向けた動きのある現地では、難民キャンプの“今”に合わせた支援が求められています。



帰還の動きやそのときどきのニーズに合わせた活動を

ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所では、2000年から現在まで、タイ国境の難民キャンプでコミュニティ図書館事業を実施しています。私が赴任した2011年頃から、ミャンマー国内の政治、経済、社会情勢の大きな変化があり、国境では、難民の帰還について議論が始まりました。2018年1月現在、まだ規模の大きな帰還はありませんが、ここ数年で帰還に向けた動きが出てきています。

現在のコミュニティ図書館事業は、住民への図書館サービスを軸としながら、この帰還の動きやその時々のキャンプのニーズに対応し、図書館からの情報提供、ミャンマーからの図書の購入、図書館関係者の人材育成に努め、学校や難民キャンプ内での読書推進に力を入れています。

Hot Topics

❶開発が進む経済特区メーソット

第2友好橋や国際空港の建設、道路拡張の他、ホテル、ショッピングモール、レストラン、カフェの数が年々増えています。それに合わせ、人々のライフスタイルも変化しています。

❷進まない難民帰還

タイ政府、ミャンマー政府の合意の下での難民帰還の第二陣として、約240人強がミャンマーへ帰還する予定でしたが、2017年内にミャンマー政府の最終許可が下りず、帰還には至っていません。（第一陣の71人は、2016年10月に帰還）

❸相次ぐNGOの事業撤退

国際支援の減少を受け、NGOの事業撤退が続いています。2016年～2017年にかけては、5団体が事業を終了。現在、難民キャンプ内では、食料、医療、教育を含むあらゆる社会サービスが削減されており、多くの難民が不安やストレスを口にしています。

❹図書館事業の将来計画について

2017年12月の年末会議で、カレン難民委員会教育部会を含む図書館関係者と共に、図書館活動の今後について話し合いました。参加者からは、「難民キャンプが閉じる日まで、どんな状況でも一緒に図書館利用者を支えていきましょう」という思いをあらためて確認できました。

活動の中で感じる子どもたちの成長が情熱の源

駐在期間が長くなってくる中で、顔なじみの子どもたちや若者たちが増え、本や図書館活動と共に成長する姿を見てきました。彼らが図書館に来て、楽しい時間を過ごしている姿を見ると、とてもうれしくなります。彼らの成長は、仕事への情熱の源になっていると感じています。

ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所
事業マネージャー
菊池 礼乃 きくちあやの

PROFILE

国籍が異なる両親を持ち、国境を越えた課題への取り組みに興味を持つ。一般企業での勤務後、留学を経て、2011年3月に入職。モットーは大変な時こそ、明るく、元気に、前向きに！

From BRC/ミャンマー（ビルマ）難民事業事務所

現地スタッフの1日

タイ・メーソットの現地スタッフの1日の業務や、地元のおすすめスポットについて紹介します。スタッフの暮らしぶりをのぞいてみましょう。

図書館アシスタント
コーディネーター

スィラ・ナティリティロンさんの1日に密着

PROFILE
2013年7月に入職。趣味は音楽鑑賞と読書。好きな言葉は「人生一生勉強」。

7:30 起床

7時半頃に起きて、朝食は家ではとらず出勤します。

業務開始

8:50 出勤

事務所に着くと、コーヒーを一杯飲みます。9時から朝のミーティングがスタート。

10:00 事務所で作業

事務所では担当図書館の活動のデータ入力や翻訳作業をします。

11:00 研修会

担当するウンピアム・ヌポ難民キャンプで研修会を行います。

13:00 会議

図書館事業関係者の集まる会議も定期的に実施します。難民キャンプの支援団体・関係者が集まる会議に参加することも。

15:00 図書を届ける準備

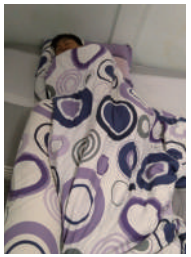
図書をキャンプと図書館ごとに届ける準備をします。時には他の職員と協力して行う作業も。

18:30 夕食

午後5時に仕事を終え、帰宅。妻と料理を作るときもあれば、簡単に何かつまむだけの日もあります。

20:00 自由時間

インターネットでチャットをしたり、テレビを見たり、ギターを弾いたりしてリラックスします。



22:30 就寝

10時半ごろに就寝。

ふたつのキャンプの図書館運営がお仕事

妻と息子が一人おり、事務所のあるメーソットには妻と二人で住んでいます。息子は車で3～4時間ほどのウムパーンの実家で私の母と暮らしています。2013年7月から図書館アシスタントコーディネーターとしてヌポ難民キャンプとウンピアム難民キャンプの図書館運営管理を担当しています。月に1～2回はキャンプに出張に行きます。特にヌポ難民キャンプは、事務所のあるメーソットから車で約5時間かかり、日帰りでは行くことができません。

世界の現場から
AIRMAIL

地元のおすすめを紹介します！

観光地としても有名な「ウムパーン」

月に一度はウムパーンの実家に帰っています。ウムパーンはウンピアム難民キャンプからヌポ難民キャンプに行く際に通る街で、観光地としても有名です。特に11月から2月の涼しい時期にかけて、多くの観光客が訪れます。最も有名なのはティロスの滝（写真❶）です。ウムパーンはミャンマーとの国境とも近く、国境を越えて存在するミャンマーの山脈を私の村からも見ることができます（写真❷）。山に囲まれたウムパーンまでの道のりは、1200以上のカーブがあると言われ、珍しい「車酔い注意」の看板（写真❸）を見ることができます！